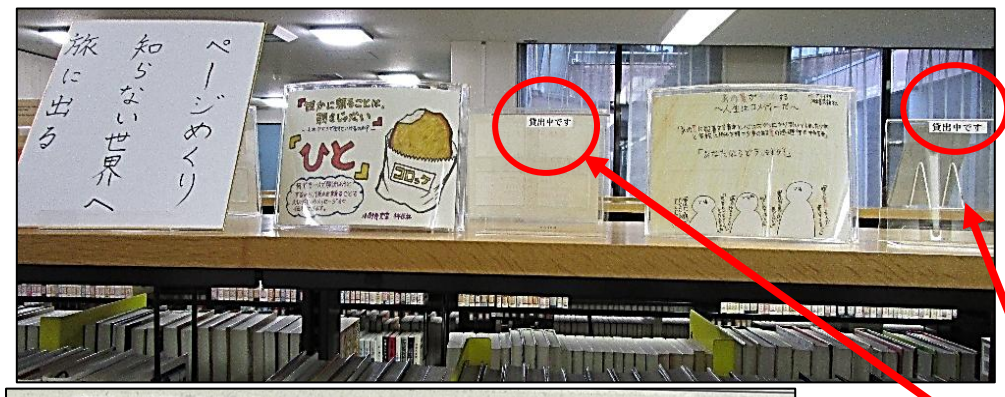
地域と方と分かち合う読書の喜び　～婦中図書館での展示～

　図書委員22名全員のおすすめ本POPと川柳係9名分の図書川柳が11月2日（月）から17日（火）に展示されました。今年でPOPは7年目、川柳は2年目です。司書の方から、「今年も、本を手に取るきっかけになり貸出が増えました。また他校の学校司書が来館され、生徒のPOP制作の見本にしたいと写真を撮って行かれました。」と言われました。多くの地域の方々と多くの本をつなぐ機会になり、また他校の読書推進の一助となることもできました。
　今後も、図書委員の活動をきっかけにして多くの方々と読書の喜びを分かち合うことができればと思います。





4冊とも貸出中になっています。

北日本・富山新聞に掲載されました。



ポップ・川柳で本お薦め

富山西高生 2日から婦中図書館で紹介

27日から恒例の読書週間が始まった。富山西高校の図書委員の生徒たちはこの日、お気に入りの本をテーマにした手描きのポップや、ページをめくりたくなるようなオリジナルの川柳を富山市婦中図書館に届けた。生徒たちは「多くの人に本を手に取って楽しんでほしい」と呼びかけている。ポップや川柳は11月2日から館内で紹介する。（森谷紗英）

委員会には1～3年生22人が所属する。幅広い世代に本への関心を持ってもらおうと、校内の図書館に掲示していた作品を17日まで婦中図書館でも展示する。6年ほど前から毎年続けている。

「幅広い分野に興味を」

制作したポップと川柳を持つ生徒＝富山市婦中図書館

図書委員が作成したポップと川柳

いる。

委員たちはお気に入りの本ごとにイラストと紹介文を書き込み、ポップを25枚作った。トルストイの「戦争と平和」は、戦争を身近に感じない世代に読んでほしいと選んだ一冊。「平和について考えてみませんか」とメッセージを添えた。新海誠さんの映画「君の名は。」をノベライズした小説をテーマにしたものも並ぶ。

川柳は「本読んで新たなことに出会いたい」「図書室（そこから始まる物語）」などと図書館や本をテーマに9句を詠んだ。

図書委員長の岩下胡乃さん(17)は「ポップや川柳に触れ、普段は読まないような本にも興味を持ってくれたらうれしい」と話している。



おすすめ本 富山西高生が紹介ポップ

図書委員作、婦中図書館に設置へ

富山西高の図書委員3人は27日、富山市婦中図書館を訪れ、同館でおすすめの本を紹介するポップ22点と、読書を啓発する川柳9作品をしたためた色紙を司書に手渡した。

2年の岩下胡乃委員長はロシアの小説家トルストイの「戦争と平和」を紹介するポップを作った。岩下委員長は「戦争をしてはいけないと伝えたい」と話した。空を見るのが好きな2年の書記、安田日茉莉さんは「雲と出会える図鑑」を紹介した。

生徒の作品は11月2日から17日まで、図書館のカウンターや本棚の上などに設置される。

ポップと川柳を記した色紙を渡した委員長の岩下さん（左）と書記の安田さん（中央）＝富山市婦中図書館

2026年（令和8年）１０月２８日（水） 左：北日本新聞２４面 右：富山新聞１２面